



平成30年度 北海道母子寡婦

とき 平成30年
ところ ホテル日航

パネルディスカッション

●「母子に関するテーマ」「私の自立」

帯広市つくし会 上田 麻衣

●「母子と寡婦 共にはぐくむ子ども

の未来」

岩見沢母子寡婦会 金沢さよ子

「子どものひとり親家庭学習支援事業土曜スクール『みのり』」

旭川市母子福祉連合会 外山 栄子

●子どもに関するテーマ

「すべての子どもたちに安心と希望を」

登別母子寡婦の会 亀松 浩子



■パネラー
(左から) 亀松浩子さん、
外山栄子さん、金沢さよ
子さん、上田麻衣さん

■コーディネーター
帯広大谷短期大学 社会福祉科准教授 阿部好恵さん

■助言者
帯広公共職業安定所 塚田奈津子統括職業指導官
道保健福祉部子ども未来推進局子育て支援課佐藤行広主幹、畑和子理事長

決議事項

平成30年度第47回北海道母子寡婦福祉研修大会において、ひとり親家庭及び寡婦の更なる福祉向上を図るため、次の事項を国及び地方公共団体に強く要望します。

- 平成25年3月に施行された「母子家庭の母及び父子家庭の父の就業の支援に関する特別措置法」に基づき、雇用条件の改善のため、より積極的な就業支援策が講じられるよう要望します。
- ひとり親家庭の母が安心して子育てと仕事の両立ができるように、休日保育・夜間保育・延長保育・病後児保育等の保育サービスの充実、児童会館における放課後児童クラブの開館時間の延長と、公営住宅の優先入居など支援体制のより一層の充実を要望します。
- 養育費の支払い履行に向けて、義務を果たすための実効性のある法整備と養育費を支払った親の税の控除を要望します。
- 未来を担う子ども達が親の経済状況により、夢をあきらめることのないよう、教育の無償化を要望します。
- 家計の担い手であるひとり親家庭の母の通院と寡婦の通院・入院医療費の助成制度の確立を要望します。
- 寡婦の独居生活が可能な年金の支給及び公営住宅の優先入居を要望します。

平成30年7月29日

平成30年度第47回
北海道母子寡婦福祉研修大会参加者一同



オープニングを飾った
詩情豊かなオカリナ演奏
富永真智子さん



アトラクションの勇壮な帯広市郷土芸能
「平原太鼓」



宣言文を読む
帯広市つくし会の
櫻井弘美さん



JR 帯広駅にも
歓迎の横断幕が

十勝色満載の売店



手作りのワッペンで
おもてなし



決議を確認する
士幌町の
小枝千恵子さん